



これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染め易いロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。

VOL.43



平成17年12月号

発行 日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所 中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847 <http://yeg.jp/>

編集 広報委員会
担当副会長 小谷 由美子
委員長 北野 健太郎
副委員長 宇式 寛記 益田 招宏
委員 佐々木靖彦 飯田 裕之 田中 尚仁
北川 一郎 藤原 耕
専門委員 秋山 俊介 金子 浩万 榊 かおり
浅井 秀明 林 孝光

目次

半年を振り返って…P1 事務局からみたブロック大会…P2～3 お世話になっている日商事務局紹介…P3
東京サミット開催しました…P4 商青連出向理事の血液型分析…P5 ブロックとはどうあるべき…P6

「半年を振り返って」

4月に本年度がスタートして以来、春の会長会議、全国大会愛知大会、9ブロック大会で全国を2巡させて頂きました。それぞれの地域とそこに根付いた活動を展開するYEGの魅力を再確認し、大きな感動を頂く毎日でした。

例年は、11月に行っている全国大会を、「Think Global, Act Local」実現の機会と捉え、愛・地球博と同時開催で7月7日～10日に愛知県豊田市で開催しました。史上最高の5千名以上の登録を頂き、「国際性」を大会テーマに据え、地域に根ざしたYEGを、世界へ発信するための基点とするともに、世界を視野に入れた新たなビジネスチャンスの創造に取り組む大会となりました。海外からパネリストを招聘し、ディスカッションの結果を『愛知宣言』としてまとめ、全国に、アジアに発信しました。世界のトヨタを擁する豊田市は、活気にあふれ、地域のパワーと更なる発展の可能性を随所に感じる地域でした。

ブロック大会のスタートは、9月の第2週、あかがねの里新居浜にて4県YEGの連携と団結を表した「そうりゃ新居浜! さしあげ四国!」のスローガンの下、開始された四国ブロック大会でした。宇宙飛行士、毛利衛氏を講師とした記念講演は、多くの市民の方も参加され、式典会場でもあった新居浜市民文化センターはまさに満員御礼でした。

秋のさわやかな晴天の下、近畿ブロック大会敦賀大会は、歴史とロマンの港町福井県敦賀市にて開催されました。記念式典後には、国際政治学者、外添要一氏による記念講演が開催されました。「きらめきみなと館」にてフィナーレとなる大懇親会がJAZZやサンバのリズムに乗せて盛大に行われ、参加したメンバーは熱気と友情の輪を広げました。

その名を知られた日本一の能代工業高校バスケットボール部を彷彿させる「ダンク・トゥ・ザ・フューチャー」のスローガンの下、その公開練習や加藤前監督の講演を分科会として東北ブロック大会能代大会が開催されました。記念講演講師は今話題の(株)ライブドアの代表取締役兼CEO、堀江貴文氏でした。夜には、きりたんぽに舌鼓を打ちながらの大懇親会が盛大に開催されました。

10月に入り、手作りの郷土料理でおもてなしを頂いた前泊懇親会を皮切りに北海道ブロック大会石狩大会が過去最高の登録数を得て盛大に開催されました。記念式典、武邑光裕氏の記念講演、分科会、大懇親会があり、その後、石狩ナイツが石狩市繁華街にて行われました。ラストを飾り、石狩市民プールにて、フェアウェルパーティ(卒業式)が行われました。

東海ブロック大会は、恵那YEGの願いが天に届いたのか、天気予報を覆し、好天に恵まれました。大いなる田舎岐阜県恵那で日本人が忘れかけている「結(ゆい)」の心を思い出させる五つの分科会に始まり、記念式典・記念フォーラム講演会・ディスカッションと続き、大懇親会「ノスタルジックナイト"里の秋の宵"」では、夜空に打ち上げられる花火を見ながら感動に浸りました。

昨年発生した「中越地震」の被災地新潟県十日町市で北陸信越ブロック大会が行われました。大会メイン会場の駐車場には仮設住宅が残るなど震災被害の爪痕を感じると同時に「古(いにしえ)から未来(とわ)へダイナミックチャレンジ!」をメインテーマに開催された大会では、十日町の食や歴史に触れながら、復興に向けたYEGと町の活力を十二分に体感しました。

「One for All All for YEG いざ出陣～浪漫の豊後で華開け」というテーマの下、過去最高の登録者を集め、九州ブロック大会大分大会が開催されました。「九州はひとつ」を心に秘め、大会運営を実施してきた九州・大分YEGや県連のパワーと団結力と熱い想いと、ホスピタリティー溢れるおもてなしは来年の全国大会・大分大会の大成功を十分に予感させるものでした。

「破(ひ)常識つちうら」～打ち破れ! 青年の価値はそこにあり～をテーマとして茨城県土浦で開催された関東ブロック大会は、まさにいろいろな場面で土浦カラー満載の破(ひ)常識に感嘆するばかりでありました。記念式典での島岡ブロック代表理事の挨拶はユーモアに富み、来賓の皆様、会場全体から拍手喝采の嵐を受け、私も直後に挨拶を控えていることを忘れてしまい、挨拶文も忘れてしまいました。

11月に入り中国ブロック大会が鳥取県倉吉にて開催されました。点在する名湯を織り込んだ分科会、熱気と心意気に包まれた大懇親会とメンバーの行き届いたおもてなしの心に包まれた大会は、式典後の記念講演での大林宣彦、伊勢正三両氏による青春の想いで音楽と語り、閉会後の子供達の笑顔と輝く目に大きな感動を頂き、ブロック大会のフィナーレを飾るに相応しいものでした。

全国9箇所の地域で行われたブロック大会は、開催地の歴史と文化と可能性が感じられ、全て特色あふれた素晴らしい大会でした。ブロック代表理事の皆様と主管地のメンバー皆様の友情と情熱に包まれ、まさに感動の連続でした。開催地の個性を尊重することの大切さも改めて感じました。

そして、11月12・13日の両日の東京サミット・翔生塾の開催でした。「今年度、商青連出向者は、400YEG・3万人のメンバーのお世話係!!」利用価値の高い商青連!!の想いの中、全委員会がそれぞれのセクションを全力で準備させて頂きました。

全国より600名を越すメンバーにお越し頂き、少しでも、御参加頂いた皆様が自分自身で感じる創業・企業スピリッツを共有できる場として、充実した二日間を過ごして頂けたのではないかと思います。会員総会においても、全国より170名を越す会長の皆様に御参加して頂きました。本当にありがとうございました。

最後に、全国各地を回り、感じたことがあります。どの地域でも新しい幹線道路沿いには、全国共通のファストフード店、コンビニ、大型量販店、消費者金融が立ち並び、金太郎館のような全国共通の景色ばかりです。しかし街中に一歩入り、目を凝らせば、個性、特性に満ちた魅力あふれる地域の顔があり、地道な活動を続けるYEGの姿があります。

今、改めて、確信しています。全国組織、商青連は、金太郎館の情報発信するためにあるのではなく、全国400の地域で、その発展のために、地域に根ざした活動を続ける400YEGの情報を共有し、全国3万人のメンバーを応援するためにあるのだ!! 主役は地域です!! 皆様にとってより利用価値の高い組織となるために、豊かな地域の創造のために、後半戦も気合いを入れ直し、引き続き、リノベーションに取り組んで参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。感謝!感謝!感謝!



日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
会長 荒濱 健太郎



全国津々浦々

事務局から見たブロック大会

四国ブロック大会〈新居浜〉そりゃ新居浜! さしあげ四国!

9月9日(金)▶11日(日)

新居浜商工会議所青年部事務局
担当 矢野英司

やっと終わったというのが正直な感想です。とにかくメンバー、商青連の方々には感謝しております。

予算を立てる段階から、とにかく節約しなければということで、記念式典は映像関係以外のスタッフは全てメンバーで行いました。リハーサルは5回ほど行いましたが、前日のリハーサルまではしっかり来なかったもので、どうなることかとプレッシャーがありましたがよくやってくれたと思います。式典・記念講演の会場と分科会などの会場が距離的に離れていたことでスタッフの人数が足りずに心配していましたが、移動も含めて何とかスムーズにできたと思います。できれば、式典のマニュアルだけでなく、登録など全般的に指導いただける方がいたほうが

ありがたいかもしれませんね。【エンジェルタッチでの登録や式典などに関しては、企画委員会の特に上田委員長には本当にお世話になりました。】

昨年の今頃は毎週末に台風がきていたので心配していましたが、何とか天気も良かったのでホッとしました。

しかし、全国でのトップバッターだったので間際はバタバタしました。【PR映像などは前日に届いたものもありました。】ご参加の皆様には不手際があり色々ご迷惑かけましたこと深くお詫言ひあげます。



近畿ブロック大会〈敦賀〉ここから始める〜敦賀物語〜

9月16日(金)▶17日(土)

敦賀商工会議所青年部事務局
担当 橋詰仁美

ブロック大会を無事終了することができ、敦賀YEGメンバーの永年にわたるブロック大会にかけた夢と情熱に敬意を表し、事務局として携わることができたこと、大きな感動を共有できたことを深く感謝申し上げます。ただ市内5会場で開催した分科会(巡視艇への体験搭乗・由緒ある気比神宮への参拝と郊外の昆布やかまぼこの製造工場見学・郊外に14基もの原子力発電炉を有する「電力の街」に関する広報施設の見学・講師による街のロマンあふれる歴史講演会、(株)なんでん 川原社長と商青連 小園直前会長がアドバイザー及びコメン

テーターとなつての第二創業セミナー)において、希望の分科会にそえなかったこともあり、当日の分科会の参加者が非常に少なく、敦賀大会のすべてのプログラムを堪能していただけなかったことが残念ではありません。是非、今後は主管地のみならず、参加者全員が、「夢」を実現することやそれらを実現するための「友情と情熱の輪」を広げられるべく、ブロック大会を盛り立てていただくことを願いたいと思います。



東北ブロック大会〈能代〉進め! チーム・東北

9月22日(土)▶24日(日)

能代商工会議所青年部事務局
担当 佐藤雄樹

9月22日(木)から24日(土)の3日間、第24回東北ブロック大会能代大会を開催しました。バスケットボールで有名な能代らしく能代工業高校のバスケットボール部の公開練習をはじめ各会場に分かれての分科会や、株式会社ライブドアの代表取締役社長兼CEOの堀江貴文氏による「ライブドアの企業戦略」と題しての記念講演を執り行い、大盛会の内に閉会となりました。同じ志をもった会員が一箇所に集結することによるパワーは、開催地を越えて大きな波として各地域に影響を与えたと感じました。単な

る開催地の見学会ではなく、そこから発信する熱が、確実にそれぞれのYEGメンバーに伝わってほしいという思いは、事務局の枠を越えて、一人のYEGメンバーとして活動出来た事に繋がりました。会員と事務局が同じ思いを共有する場としても、非常に重要な大会であると思います。



北海道ブロック大会〈石狩〉歴史への挑戦

10月7日(金)▶8日(土)

石狩商工会議所青年部事務局
担当 菊池孝一

現在、ブロック大会が終わり、残務整理が日々続いています。とりあえず事故もなく無事に大会を終えることが出来ましたことについて、ほっとしているところです。

ブロック大会開催までの準備期間は、部員全員が一丸となって全力で取り組むことにより、さらに部員の結束力が高まったことが、私を含めて今後の財産になるものと確信しています。ブロック大会とは、未知の可能性に挑戦し、目に見えないプレッシャーと戦い、自分の能力を超えた何かに挑戦し、さらに己を高

めていく。そんな場であるような気がします。

ブロック大会開催まで、上田企画委員長様をはじめ、商青連役員の皆様には、色々アドバイスをいただき大変感謝しております。本当にありがとうございました。



東海ブロック大会〈恵那〉恵那でみんなとやろまいか!!

10月13日(土)▶15日(日)

恵那商工会議所青年部事務局
担当 後藤健司

天気予報で降水確率70%と天候が心配されましたが、恵那YEGの願いが天に届いたのか、好天に恵まれた本大会は、13日の東青連会員総会を皮切りに、大いなる田舎での「結(ゆい)の心」が思い出される五つの分科会、式典、記念フォーラム講演会&ディスカッションと、すべてのプログラムに「結の心」を取り入れ、そんな企画をメンバーが自ら主体的に自分たちの力で地域資源の発掘の一環とし、取り組みました。その姿には、これまでは感じられなかった「何か力強いもの」が感じられました。とりわけ、

廃校になった小学校を利用した大懇親会は、全てメンバーの手づくりの設営で、田舎らしさを全面に出したもので、特に、夜空に打ち上げられる花火を見ながらの企画は、とても感動しました。各単会メンバーや地域の方から「結の心」をいただきました。最後には、メンバーと感動の涙を流しあうことができ、これからの自分の糧になることが出来た大会でした。



北陸信越ブロック大会〈十日町〉古から未来へ ダイナミックチャレンジ

10月21日(金)▶22日(土)

十日町商工会議所青年部事務局
担当 尾身藤光

先ず以て十日町大会に目標の700名を上回る大勢の方からご登録ご参加賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、大会主管が承認されたのは、3年前の9月に開催された県連会長会議でした。その日以降、本来の青年部活動と併行して大会組織、テーマの検討や行政への協力要請等が開始され、準備は順調に推移しました。

大会会長の交代劇や中越地震による活動の中断等の様々な障壁もあり、また会員の増強を図ったものの1名しか増加することができなく、49名の少数で大会を迎えることになりました。

大会当日は高い出席率(49名中39名)と、会議所全職員の協力により運営はスムーズに行われ、中越地震で頂戴した全国からのご支援に感謝し、心からおもてなししようという十日町YEGの気持ちが一つになった運営ができたものと思います。

お陰様ですべての日程を滞りなく終了することができました。至らない点多々あったものとは存じますが、何卒ご容赦願いたいと存じます。ご指導ご協力頂きました関係各位に心から御礼申し上げます。



九州ブロック大会〈大分〉いざ出陣 浪漫の豊後で華開け

10月22日(土)▶23日(日)

大分商工会議所青年部事務局
担当 内野三樹夫

自主運営の青年部がやり遂げた!

大分YEGは、会員数160名を超える大きな組織ですが、一昨年より事務局を独立させ、自主的に運営している青年部で、全国的にも珍しい形態をとっています。

今回開催された九州ブロック大会大分大会では、「九州はひとつ!」という工藤九青連会長の熱いメッセージと、「〜いざ出陣〜浪漫の豊後で華開け」の開催地テーマに基づいた大分YEGのおもてなしにより、参加した青年部メンバーが、本当に一つになれた大会

だったと思います。

大分YEGのように自主運営をしている青年部が、大会の成功で得た自信と情熱は、今後も飛躍し続けるメンバーの糧となることと思います。



関東ブロック大会〈土浦〉打ち破れ! 青年の価値はここにあり

10月27日(土)▶28日(日)

土浦商工会議所青年部事務局
担当 飯野 晃

関東ブロック大会土浦大会にご参加いただいた方々、そして大会の開催に関与されました多くの方に心より御礼と感謝を申し上げます。想い起こせば、関東大会の土浦開催が決まってからは、頭の中から関東大会のことが離れることはありませんでした。実行委員会組織の立上げから人選にいたるまでの生みの苦しみがあり、前年開催の上尾大会でのPRへ向けて、大会のコンセプトやスローガンを決めるにあたり、白熱した討論を深夜まで何回も繰り返し行ったこと。その時に、この大会の規模の大きさや大変さを感じたことを思い出します。また、メンバーの意気込みを感じる事が出来たのもこの頃でした。3月の引継ぎが終わり、いよいよ各地でのPRキャラバン隊活動がはじまりました。毎週毎週、各地へ出向きいろいろなメンバーの方々と名刺交換出来たことは、本当に良かったと思います。特にPRビデオは好評で、皆

で苦労して作った甲斐がありました。PRキャラバン隊の活動も一通り終了し、いよいよ本番に向けての本格的な準備が始まり、決まった時間に決まった顔で、毎日毎日深夜まで準備に追われた日々を過ごすことになりましたが、ここでメンバー間の深い絆が出来たと思います。他のブロック大会を見れば見るほど、プレッシャーとなり危機感を感じましたが、最後は自分たちを信じてやってきました。大会の評価は、参加者が決めればよいことだと思いますが、それ以上にこの大会をやり終えた満足感は何んともいえない気持ちになりました。7・8単会有る関東ブロックの中で、この大会を主管することはもう無いと思いますが、この巡り合わせに感謝したいと思います。



中国ブロック大会〈倉吉〉LOVE郷土 めざせ未来中心

11月4日(金)▶5日(土)

倉吉商工会議所青年部事務局
担当 上口俊一

全国9ブロックの最後を飾って、商青連荒濱会長を輩出する鳥取県は、倉吉市において開催されたブロック大会。異例の2日間開催ではありましたが、中国5県の青年部をはじめ全国各地より658名の登録を得て行われました。そんな中で青年部メンバーひとりひとりが自分の役割をしっかりと捉え、自らの既成の幅にとられず、無限に幅を広げて動いていました。この事業の意義は、大会の2日間で終わりではありませんが、この2日間を目標として長い期間、青年部メンバーは本業もそこそこに準備をすすめてき

ました。その成果として「良いおもてなし」ができたと思います。

今後、会議所の会費収入の減少、中小企業相談所の人件費削減等が進む中で、今後の青年部の活動が期待されるところであります。このブロック大会を期に「今日より明日」「明日より…、きっといいことあるように」そして、倉吉YEGとそのメンバーの更なる発展を願うばかりです。



いつもありがとうございます お世話になっている日商事務局紹介



諸会議・大会等で皆様にもいろいろとお世話になり、ありがとうございます。今年度、商青連事務局は、戸田顧問、塩野、石井、杉浦の4名で担当させていただいております。また、女性陣の西山、江畑、岡の3名が日商での事務作業を支えております。

日商での仕事は、政府・与党等との折衝、各地商工会議所の役職員の皆様との連絡などが多く、企業経営者の方々と接する機会は意外に少ないものです。

そんな中で、商青連活動を通じ、皆様と直接お話しでき、生の声を聞かせていただき、時には熱い議論を交わすことができますことは、我々にとって大変刺激となり、勉強になっております。(日商で一番面白い仕事と思っております。)

担当それぞれが一人のメンバーになったつもりでよりよい商青連活動ができるよう取り組んでおりますので、何卒引き続きのご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

全国商工会議所青年部連合会
事務局長 塩野 裕

平成17年11月12日(土)・13日(日)の両日、東京都内 東京商工会議所ビルに於いて商青連と日商の初主管において「YEG東京サミット」が開催されました。

11月12日(土)には、東京商工会議所ビルの国際会議場において、第44回通常会員総会・会長会議・特別講演会が開催されました。通常総会においては、平成18年度役員を選任のほか、第27回(平成19年度)全国大会の開催地及び第24回(平成18年度)全国会長研修会の開催地・開催日についての報告等がありました。

そして会長会議においては、小園直前会長のコーディネイトにより、「今、問う! 商青連は必要か?」というダイナミックなテーマで、アンケートアナライザー(回答数を自動で集計し表示するシステム)を使いながら活発な意見交換がされました。引き続き行われた特別講演会においては、『これからの日本とこれからの経営』と題して、(株)ライブドア代表取締役兼CEOの堀江貴文氏にご講演を賜りました。

続いては、会場を東商ホールに移動し、日本商工会議所主催による『創業・第二創業挑戦支援フォーラム』が開催され、基調講演として、『新しいビジネスへの挑戦～プロの経営者を目指せ!ゼロから10年で年商1,400億円～』と題して、グッドウィル・グループ(株)代表取締役会長兼CEOの折口雅博氏にご講演を頂きました。また、『顕彰企業にみる創業・第二創業のポイント』と題して、商工会議所の実施する企業表彰の受賞者にビジネスプレゼンテーションを行っていただき、ドリームゲート前編集長の野村滋氏から各ビジネスプランの成功ポイント等についてコメントをいただきました。併せて、サブセミナーとして、『営業力で売上げ倍増』と題してのいとう伸氏[(株)ヒューマンブレイン代表取締役]と『広報戦略で売上げ倍増』と題しての西 樹氏[(株)花形商品研究所代表取締役]の両名にご講演頂きました。

全ての講師陣がYEGメンバーと同世代の経営者であり、そのパワーとバイタリティーには、我々同じ経営者として参考にすべき点が多々ありました。

さらに同時開催にてYEG情報ネット委員会主体による『商売拡大計画その1 研修編』として、ビジネス交流会リーダーセミナーが開催されました。第一部では、増淵正明氏(マスターカード・インターナショナルジャパン ディレクター)による『人脈づくりほど楽しいものはない!!』と題してのご講演をいただき、第二部では、ビジネス交流会リーダー研修会が開催されました。

そして、日も落ちて夕暮れを過ぎた頃、会場を隣接する東京會館 ローズルームに移して、全国大会が行われた愛知県連主管による大懇親会が執り行われました。様々なところに心配りされた原田大会会長をはじめとする豊田YEGのメンバーの皆様と愛知県連のメンバーの皆様は深く感謝申し上げますとともに、今回の東京サミットを仕切った落司総務委員長の最高の閉会挨拶でありました。↓



日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
YEG東京サミット スケジュール

11

12(土)

**会員総会
会長会議**

テーマ「今、問う! 商青連は必要か?」

特別講演会

「これからの日本とこれからの経営」

講師 堀江貴文氏 (株)ライブドア 代表取締役兼CEO

創業・第二創業挑戦支援フォーラム

【基調講演】

「新しいビジネスへの挑戦」～プロの経営者を目指せ!ゼロから10年で年商1,400億円～

講師 折口雅博氏 グッドウィル・グループ(株)代表取締役会長兼CEO

【ビジネスプレゼンテーション】

「顕彰企業にみる創業・第二創業のポイント」

コメンテーター 野村滋氏 (株)コンテツ・ファクトリー 代表取締役 (DREAM GATE前編集長)

【サブセミナー1】

「営業力で売上げ倍増」

講師 いとう伸氏 (株)ヒューマンブレイン 代表取締役

【サブセミナー2】

「広報戦略で売上げ倍増」

講師 西 樹氏 (株)花形商品研究所 代表取締役

商売拡大計画その1 研修編

ビジネス交流会リーダーセミナー

【第一部】講演会 「人脈づくりほど楽しいものはない!!」

講師 増淵正明氏 マスターカード・インターナショナルジャパン ディレクター

【第二部】ビジネス交流会リーダー研修会

(大懇親会)

11

13(日)

翔生塾

【講演】

(起) 奥寺憲穂氏 日経ベンチャー 前編集長

「脱セオリーへの挑戦」

(承) 内原康雄氏 (株)NCネットワーク 代表取締役

「モノづくり大団日本復活宣言 挑戦する製造業のために」

(転) 新浪剛史氏 ローソン(株) 代表取締役兼CEO

「創業30周年から第二創業へ ～ローソンの新たなチャレンジ～」

【パネルディスカッション】

「YEGメンバーが目指す創業と転換とは」

(結) 奥寺憲穂氏

内原康雄氏

新浪剛史氏



多数のご参加ありがとうございました

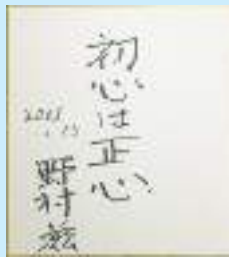
東京サミットが開催されました

翌13日(日)には、JR有楽町駅に隣接する東京国際フォーラムにて、『「The challenge for renovation」創業と転換 挑戦こそ企業の原点 これがYEGスタイルだ!』をテーマとして翔生塾が開催されました。

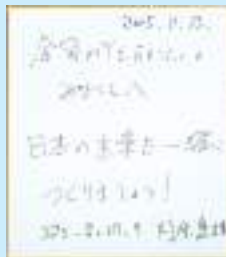
起承転結の「起」として、『脱セオリーへの挑戦』と題して、奥寺憲徳氏(日経ベンチャー前編集長)によるご講演をいただき、「承」として、『モノづくり大国日本復活宣言 挑戦する製造業のために』と題して、内原康雄氏[(株)NCネットワーク代表取締役]によるご講演を賜り、さらに「転」として、『創業30周年からの第二創業へ〜ローン新たなチャレンジ〜』と題して、新浪剛史氏[(株)ローン代表取締役兼CEO]によるご講演を頂戴しました。そして「結」として、『YEGメンバーが目指す創業と転換とは』をテーマに上記3名によるパネルディスカッションが執り行われました。

今回の翔生塾には、過去最高の参加者が受講されましたが、すべての参加者がチャレンジすることのエネルギーとパワーを持ち帰って頂けたことと確信します。とくに、新浪社長による「改善は現場から!改革はトップから!」の言葉が大変印象に残った一日でありました。

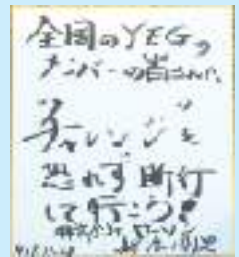
**全国3万人のYEGメンバーへ
応援メッセージ**



(株)コンテンツ・ファクトリー
代表取締役 野村 滋氏



(株)NCネットワーク
代表取締役 内原康雄氏



ローン(株)
代表取締役兼CEO 新浪剛史氏



グッドウィル・グループ(株)
代表取締役会長兼CEO 折口雅博氏



(株)花形商品研究所
代表取締役 西 樹氏



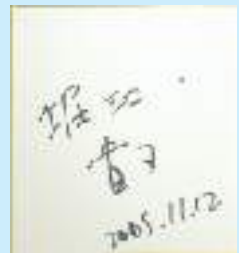
日経ベンチャー
前編集長 奥寺憲徳氏



マスターカード・インタナショナルジャパン
ディレクター 増淵正明氏



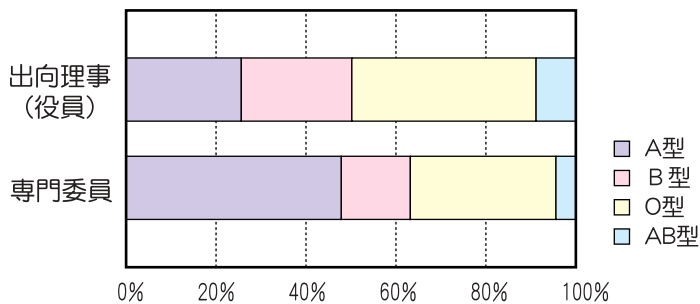
(株)ヒューマンブレイン
代表取締役 いとう伸氏



(株)ライブドア
代表取締役兼CEO 堀江貴文氏
※時間がなく、サインのみとなりました。

商青連出向理事の血液型分析！(17年度商青連出向理事はこんな人達の集団です)

出向理事(役員)と専門委員の血液型割合 (出向理事70名専門委員46名による)



B型

- マイペースの行動、他人から行動を縛られ抑制されることを嫌う
- 自由自在なアイデア性
- 団体行動は苦手だが仲間はずれを気にする
- 周囲の影響を受けず、又気にしない
- 仕事をしながら話し相手もできる
- 楽観的、主観的な物の考え方であるため、言いたい放題のことを言う
- 一応、何でも反対する感あり
- 時間に縛られず、一人で仕事をしている時が一番幸せ
- あきらめが早く、心の切り替えが早い
- どんな時代でも生きていくことが出来る柔軟性あり

A型

- 対人関係には神経質なほど気を使う
- 外ツラが良く、内ツラが悪い
- 喧嘩は理屈っぽく、なかなか謝らない
- 考え方がやや型にはまる
- 筋を通す
- 慎重な態度
- 時間を気にする
- 決められたことには良く守る
- 職業はメンツを考える
- 神経質・自慢屋・完全主義・自己不信・自信喪失

O型

- 現実的で常識派
- 直感的に物を買う傾向あり
- 自分の態度は自分で決める
- 考え方がストレート、少々単純さも
- 独占欲が強い
- 相手との力関係を意識する
- 生きる欲望が強く、バイタリティ盛ん
- 仕事の段取りが早い
- 政治家とパーのホステスにO型が多い
- コセコセしない、おあらかである

AB型

- 合理的な物の考え方
- 分析能力最高
- 争いは避ける平和派
- 決断力に欠ける
- 仕事は真面目であり、かつ有能である
- 行動はやや消極的な面がある
- ベタベタした付き合いを嫌う、やや人と付き合いに距離をあく
- バカと天才にAB型が多い
- 優越感意識あり
- 感情は安定している面と不安定な面がある

分析結果 17年度の商青連に出向しているメンバーでO型(38%)が一番多く続いてA型(34%)、B型(21%)、AB型(7%)の順になった。極々平凡な結果だったが、注目していただきたい個所がある。会長をはじめとする執行部のメンバーの大半がO型であること(O型5名)。尚且つブロック代表理事と委員長の中ではAB型が1人もいない(O型12名・A型5名・B型7名・AB型0名)。なぜだろう。116名の中で8名(7%)しかいないからだろうか??不思議な結果がでた。やはりAB型は少ないのだろうか?AB型諸君!次年度そして次代を先駆けるメンバーのみなさん!地域、そして全国各地でのYEG活動頑張ってください!(*あくまでも参考であり、血液型だけですべてを判断するわけではありません)

